



2020年度 文章読解・作成能力検定

準 2 級 F 検定問題

検定日：2021年2月12日(金)

検定時間：60分

開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。

<注意事項>

■受検について

1. 氏名、生年月日、性別、会場名（団体名）、会場番号を、答案用紙のそれぞれの欄に大きく、丁寧に、はっきりと書いてください。
2. 検定開始後に問題冊子を開いて、問題の印刷が不鮮明な部分や、ページの落丁・乱丁などがあれば、手を挙げて監督者に知らせてください。
3. 問題冊子の余白は自由に利用してください。

■解答について

1. 答えはすべて答案用紙の解答欄に、HB以上の濃い鉛筆、またはシャープペンシルで記入またはマークしてください（ボールペンや万年筆などは使わないでください）。
2. マークはきれいにぬりつぶしてください。間違ってマークしたものは、鉛筆の黒いあとが残らないように消しゴムできれいに消してください。
3. 選択式問題では、問題文で指定された数だけ解答欄の記号をマークしてください。マークの数が指定された数と異なる場合は、採点の対象となりません。
4. 記述式問題で解答の行数が指定されているとき、行数が不足した場合または行数を超えた場合は、採点の対象となりません。
5. 答案用紙を破ったり、汚したりしないでください。
6. 提出する前に消しゴムのカスが残らないように払ってください。



公益財団法人 日本漢字能力検定協会

[不許複製]

年	組	番	氏名

第1問 次の問い(問1・問2)に答えなさい。

(30点)

問1 次の1～5の意味を表す語句、あるいは説明に合う語句として最も適切なものを、それぞれのア～エのうちから一つずつ選びなさい。

1 非常に優れた品物や作品。美術品や工芸品について言うことが多い。

ア 珍品 イ 賜物^{たまもの} ウ 祝儀 エ 逸品

2 ある物が、別のある物に釣り合っていて、似つかわしい状態。

ア かんばしい イ ふさわしい ウ 好ましい エ めばしい

3 比べられるものがないさま。ほかでは見られないさま。

ア 一つ覚え イ 通り一遍 ウ 二つに一つ エ 二つとない

4 態度や行いにしまりがなく、だらしないさま。

ア 自堕落 イ 無軌道 ウ 野放図 エ 不養生

5 たいしたことがない相手だとだいたい分かる。相手を軽く見る意を含む。

ア かまをかける イ ふるいにかける ウ 底が割れる エ たかが知れる

問2 次の1〜3の文には誤りがあります。それはどのような誤りですか。最も適切なものを、ア〜エのうちから一つずつ選びなさい。

1 この一年間、ラグビー日本一を目指してハードな練習に耐えてきたのだから、たとえ決勝で負けたとしたら悔いはない。

ア 「目指す」結果である「日本一」についている助詞「を」が、結果を示すものでないのが誤り。

イ 「耐えて」の対象となる「練習」についている助詞「に」が、対象を表すものでないのが誤り。

ウ 副詞「たとえ」に呼応する表現が適切でないのが誤り。

エ 文の前半と後半とをつなぐ接続助詞「から」が、文全体の意味に合わないのが誤り。

2 書道の道に進もうと決めるのは、小学校の書写の時間に先生が私の字をほめてくれたときだ。

ア 「書道の」「小学校の」「書写の」「私の」と、一文の中で同じ助詞を四度繰り返し返しているのが誤り。

イ 「ほめてくれた」というやりもらいの対象が、人物ではなく「字」であるのが誤り。

ウ 「決めるのは」という文の主部に対して、述部が理由を表す表現になっていないのが誤り。

エ 「ほめてくれた」のが過去のことなのに、同じ時点の行為に「決める」という現在形を用いているのが誤り。

3 講演会に来てくれる予定の講師が入院したとの連絡があり、あまりに突然に出来事で右往左往した。

ア 「出来事」にかかる「突然に」が連用形になっているのが誤り。

イ 「講師」という敬意をはらうべき人に対して、敬語表現ではない「来てくれる」を用いているのが誤り。

ウ 「予定」という未来のことについて、「入院した」という過去の形で表現しているのが誤り。

エ 「右往左往」という状態を表す語に「する」をつけて動詞にしているのが誤り。

第2問 次の文章を読んで、後の問い(問1～問3)に答えなさい。

(30点)

Yスイミングスクールは、本年、会員数の増加を目的に、期間限定で入会月の会費無料キャンペーンを実施した。ここでは、最近二年間の会員数の動向を確認し、このキャンペーンの効果について検証したい。【段落A】

図1を見ると、昨年の入会者数は、四・七・八月にピークがある。会員総数は、退会者数が入会者数を上回った三月を除いて増加を続け、年末には三五二人に達した。【段落B】

次に図2を見ると、本年も、入会者数のピークは四・七・八月にあり、いずれも前年同月の二倍以上の会員を集めた。反面、退会者については、

①。会員総数は、増減を繰り返しながら年末には四五一人に達したが、一年間で約一〇〇人という増加数は、昨年とほぼ同じであった。【段落C】

昨年の入会者数のピークの背景には、年度替わりや夏季休暇を機に入会した顧客の存在が考えられる。この点に注目し、入会者のさらなる増加を目指し、多額の予算を投じて本年実施したのが、四・七・八月の入会者を対象とした「入会月の会費無料」キャンペーンであった。結果、各月の入会者は増えたが、

会費無料の月が過ぎると退会者が続出し、入会者数を上回る月が増えたのである。【段落D】

このように、②。したがって、本年のキャンペーンは失敗であったと言えるだろう。【段落E】

図1 入退会者数および会員総数の推移(昨年)

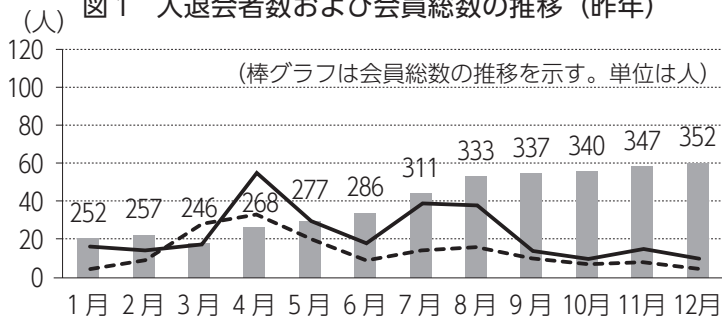
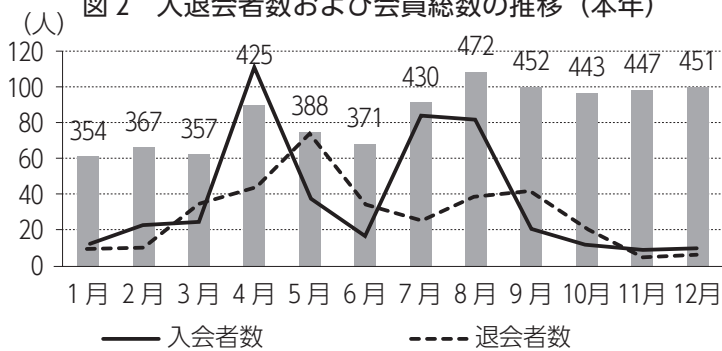


図2 入退会者数および会員総数の推移(本年)



問1 文中の空欄①に入る内容として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 前年と同じく、三月には入会者数を上回っている事実が確認できる
- イ 九月は前年の同月の四倍以上にも上っていた
- ウ 入会者数を上回った月が前年より増え、五・六・九・一〇月にも見られた
- エ 七月から八月にかけて連続して増加するという現象も見られた

問2 文中の空欄②に入る内容として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 一月から三月までの入退会者数の推移の傾向については、昨年も本年も大して変わらなかった
- イ 本年は入会者数が劇的に増えた月が複数見られたが、会員総数が増えているとは言えなかった
- ウ 本年の退会者のほとんどが、キャンペーンにつられて入会した人であり、あまり熱心ではなかった
- エ 多額の投資にもかかわらず、本年の会員総数の増加についてみれば、昨年と大差なかった

問3 段落B・C・Dの内容を整理したものととして最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア BⅡ入会者数のピーク CⅡピークの背景 DⅡキャンペーンの提案
- イ BⅡ昨年の調査結果 CⅡ本年の調査結果 DⅡキャンペーンの検証
- ウ BⅡ入会者数と会員総数 CⅡ調査結果の提示 DⅡキャンペーンの評価
- エ BⅡ調査結果の提示 CⅡ調査結果の考察 DⅡキャンペーンの分析

第3問 次の文章を読んで、後の問い(問1～問3)に答えなさい。

(30点)

太陽の色は何色か。そう問われたとき、多くの日本人は「赤色」と答えるだろう。ところが欧米では、「黄色」や「オレンジ色」と答える人が主流だという。他に、白色や金色という国もあるようだ。確かに外国の絵本などを見てみると、太陽が赤色以外で描かれていることが多い。似たような例をもう一つ挙げよう。虹の色の数だ。日本ではおおむね七色とされているが、海外では六色、五色、少ないものだと二色というところもある。【段落A】

そうなる気になるのは、こうした違いはなぜ生まれるのかということだ。これを考えるときよく言われるのは、文化の違いだ。【段落B】

ある文化において、太陽はこの色、虹の色の数はいくつと規定されている。すると、太陽が実際にどんな色であっても、虹がいくつの色で構成されているとしても、その文化の中で育った人には、そのようなものだととらえられてしまう。ここに年齢や国籍は関係がない。どの文化で育ったかによって、太陽の色や虹の色数が決まってくるのだ。その証拠に、欧米で育った日本人の子供に太陽の絵を描かせると、

② だのとらえるそうだ。【段落C】

① に塗るといふ。また、日本で育った人は、外国で太陽を見ても

一つの文化の中で暮らしていると、太陽や虹はだれが見ても同じ色に見えて当たり前だと思い込んでしまう。文化によって、すでに先入観が形成されているのだ。私たちはよく、「先入観なく、物事をありのままにとらえよう」「相手のありのままの姿を認めよう」といったことを語る。そうしようという態度はすばらしいものだが、実際に物事をありのままに見るといふのは実は非常に難しいのだと言える。太陽や虹の例で見えてきたように、人間が物事をどうとらえるかは、その人を取り巻く文化に縛られるものでもあるからだ。【段落D】

問1 空欄①・②に当てはまる語の組み合わせとして最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア ①黄色やオレンジ色 ②黄色またはオレンジ色
イ ①赤色 ②黄色またはオレンジ色
ウ ①黄色やオレンジ色 ②赤色
エ ①赤色 ②赤色

問2 段落A・B・Cの関係の説明として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 段落Aで示された事実をもとに、段落Bで中心となる話題を示し、段落Cで話題の具体例を挙げている。
イ 段落Aで示された事実について、段落Bで問題を提起し、段落Cで問題解決のための根拠を示している。
ウ 段落Aで述べた事例をふまえ、段落Bで筆者の見解を述べ、段落Cでその見解の正しさを証明している。
エ 段落Aで述べた事例に対し、段落Bで筆者の疑問とそれへの解答を示し、段落Cで解答を解説している。

問3 段落Dの要旨として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 物事のとらえ方は文化に規定されるものでもあるため、物事をありのままに見るのは難しい。
イ 太陽の色でさえ文化によってとらえ方が異なるのだから、物事を見るときに先入観が生まれるのは当然だ。
ウ 人間は文化に縛られて物事をとらえるからこそ、物事をありのままに見ようという態度が重視される。
エ 文化によって物事のとらえ方が異なるので、文化が異なる国で物事をありのままに見るのは非常に難しい。

第4問 次は、ある高校生が、卒業した部活動の先輩にあてて書いた問い合わせの手紙です。これを読んで、後の問い(問

1・問2)に答えなさい。なお、手紙文では頭語・結語、時候のあいさつなどは省略してあります。(40点)

さて、先輩は以前、部活動の練習中にタオルをなくしたとおっしゃっていました。あのときは、練習後に一時間近く探しても見つからなかったとお聞きになりました。確か、水色のストライプ柄のタオルだったと思いますが、間違いないでしょうか。

A

先日テレビで、大学リーグでの先輩のプレーを拝見しました。テクニクにも磨きがかかった、とてもキレイのあるプレーに感動しました。先輩なら、努力次第でもっとうまくなれると思いますので、がんばってください。後輩一堂、先輩のますますのご活躍をお祈りしております。

第5問 飲食店でメニューが大幅に値下げされて、通常よりもずいぶん安くなる場合があります。そのような値段がとても安い料理が食べられることについて、利用者にとって「安い料理が食べられることは好ましい」「安い料理が食べられることは好ましくない」という二つの立場のどちらかに立って、論説文を書きなさい。次の条件を守ること。

(70点)

条件1 論説文は、次の順番で四つの段落に分けて書くこと。

第1段落 出来事・体験・知識を述べる。

「飲食店で安い料理が食べられること」について、あなたの意見を支える出来事・体験・知識を述べる。

第2段落 意見を述べる。

利用者にとって「安い料理が食べられることは好ましい」か「安い料理が食べられることは好ましくない」のどちらか、意見を明確に述べる。

第3段落 意見の根拠を論理的に説明する。

第4段落 第2段落の意見とは異なる意見を取りあげて、その意見が正しくないことを説明する。

条件2 1行25字のマス目に縦書きで、必ず18行以上、26行以内で書くこと。句読点も1字として数える。句読点が行頭にくるときは、前行末欄内または欄外にうってよい。

注意 行数不足または行数超過の場合は採点の対象となりません。

※次のページに下書き用のマス目があります。

検定日・検定を行う時間・問題回収などについて公正でないと
思われる点がありましたら、当協会までお知らせください。

電話番号：0120-509-315 (無料)

受付時間：月～金 9:00 ～ 17:00

(検定日とその前日の土・日は受け付けています)

